

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		帯広あおぞら				公表日		令和7 年 3月 14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・部屋の使い方を検討中	・安全面を考えた部屋の使い方を考えていく			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・状況に合わせて声掛ける				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2		・都度、パーテーション等で仕切ったり工夫している ・視覚的にわかりやすい見え方を作っていく	・構造化できることは、更に検討していく			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			・衛生面、感染を考え、都度清掃をしていく			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・子どもの様子に合わせて、環境を調整できるようスタッフで共有認識し、都度、情報共有をしている				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・打合せを行い、共有している ・問題解決への話し合い、共有を大事にしている	・職員で意見交換しながら作り上げていく			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・今後防犯対策等、わかりやすく伝えていく				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		週に1回程度の会議や、必要に応じて話をする場を設けている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・OT,PTより、アドバイスを頂いている。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・現在作成中。3月に公表予定。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・ニーズの聞き取りが不足しているかもしれない ・色々な視点から子どもをおさえていく				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・原案作成前後に子どもの支援に関わる職員で話をし、共通の関わりができるよう会議を行っている。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・より計画に合わせたプログラムを意識する。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・様子に合わせて、病院受診や心理検査を勧めている ・アセスメントツールを活用を行っていく				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・子どもの様子に合わせ、支援内容を設定する。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・クラスでの共有を大切にしている	・発達を押さえた上でのプログラム作成していく。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・理由、ねらいがあって、継続する時もあるが、その意図を保護者に伝えきれていない ・幅広いプログラムを考えている	職員間で共有しながら、発達に合わせて変化していくプログラム作成をしていく			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・状況に合わせて、活動できるように、支援計画を組み立てる				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝のミーティングで流れの確認をする				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・短い時間でも、ミーティングを意識している				

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	・記録を取る事を意識付けしていく	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・日々の中でモニタリングは意識しているものの、見直しにまでは至っていない。次の支援計画に活かしている ・支援計画の見直しをクラスで共有し、にする	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・基本、クラス担当者が参加する	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・移行該当児がいた場合は、共有を行う	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・相互理解までは力が及ばず難しいが、情報共有に努めている ・今後行っていく予定	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	3	4	・他地域のセンターや事業所等との連携、取り組みについての情報交換を行っているが、地域の質の向上に関する取り組みには、課題がある。 ・帯広市自立支援協議会の子ども部会の中で、研修等の企画、運営を帯広市と共に、質の向上を目指し行っている。	・今後、地域の質の向上に努めていけるよう、努力していく
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6		・法人内の療育に参加する。 ・OT,PTにアドバイスをもらったり、外部への研修にも参加する機会がある。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6		・参加している	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	・併設されているつばさ保育所と交流がある	
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・共通理解に至る為に伝え方の工夫が必要 ・保護者のニーズに耳を傾ける	保護者の方との連絡を取るように時間の工夫を行い共通になるような話し合いを設けていく
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		・ペアトレではないが、必要に応じて、親子間の関わりに助言を行っている	関わり方について具体的に話していけるように心掛けていく
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		聞かれた際に、回答している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2	・保護者のニーズを随時、日常の中や、面談で都度話を聞かせてもらってはいるが、不足している所もあると思う	・今後、作成前に子どもや保護者の意向を確認する機会を積極的に設けていく
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・ニーズに耳を傾け、対応していく	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・保護者同士の連携を支援は力不足もある	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・スピーディに、保護者の困り感に寄り添っていきたい	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		・コロナ前は行っていたが、現在は行事として行っていない	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・周知が不足している ・毎月、状況に合わせた訓練を実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全管理に必要な訓練は、年間の中で計画して行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	4	・取り組み内容についての周知は、足りないかもしれない	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・その都度、打ち合わせを共有している ・しっかり目を通してしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・該当児がいた場合、共有と記載を行う	